

# 大腸CT検査 のご案内



## 大腸CT検査とは？

**大腸CT検査**とは、肛門より炭酸ガスを注入し、CTを用いて病変の有無を観察していく検査です。

より正確な画像を得るために、前処置として、少量のバリウムと下剤を飲んでいただきます。

## こんな方にオススメ!!

- ✓ 健診で便潜血陽性を指摘された方
- ✓ 便秘・下痢などの症状がある方
- ✓ 過去に大腸内視鏡検査・注腸検査で辛い経験をされた方
- ✓ 短時間で検査を終わらせたい方





## 大腸CT検査の注意点

1. 当検査は腸管内の便をできるだけ少なくするために、前日に自宅にて下剤を服用していただきます。
2. 検査前に、腸の動きを抑える薬剤を肩の筋肉に注射します。
3. 炭酸ガスで排便感を感じることがありますが、検査中はガスを出さないようにお願いします。万が一検査中に吐き気・腹痛が生じた場合はすぐにお申し出ください。
4. 撮影は仰向けとうつ伏せでの2方向で行います。  
上記の体勢が困難な場合は事前に、お申し出ください。

当院は、  
日本消化器がん検診学会  
**大腸CT検査認定施設**です。



# 大腸CT検査をもっと知ろう!!

初めての方でも簡単!!

検査時間が短い!!  
(15分程度)



- ・大腸CT認定技師による安全な検査
- ・専門の読影医による画像診断

## 大腸CT検査のメリット・デメリット

### メリット

- ≫ 内視鏡検査と比べ、下剤の量が少ない
- ≫ 大腸だけでなく、腹部全体(肝臓・膵臓など)の情報も得られる。
- ≫ 下剤は自宅で服用していただくため、院内の滞在時間が短く、検査後はすぐに帰宅できる。



### デメリット

- ≫ 少量の被ばくがある。(妊娠中、又はその可能性がある方は検査を受けることができない)
- ≫ 内視鏡検査に比べ小さい病変がわかりにくい。
- ≫ 異常が見つかったとしてもその場で処置ができない。(別途、内視鏡検査を受ける必要がある)



## 検査当日の流れ

約15分

- ・放射線科で受付をします。
- ・血圧測定、問診後検査着に着替えます。

- ・検査台に横になり、腸の動きを抑える注射をします。(※注射をしない場合もあります。)

- ・肛門より検査用の細いチューブを挿入します。
- ・チューブより炭酸ガスを入れます。

- ・大腸を膨らませた後、仰向けとうつ伏せで撮影し、検査は終了です。

- ・着替え
- ・画像の確認ができ次第、会計後、ご帰宅となります。

※医師の判断により、診察をする場合もあります。